

田平住民の声をうけ

小型風力発電を

ガイドラインで規制へ

脱原発、温暖化防止をめざして、再生可能エネルギーの普及が、世界の大きな流れです。原発ゼロに踏み出したドイツでは、再生可能エネルギーが2015年



田平町久吹ダム近くの小型風力発電

に発電量の30%をこえました。日本は1割程度に過ぎません。原発固執政治が最大の障害となっています。

再生可能エネルギーの普及は重要ですが、人の健康や地域環境などに影響がないように、すすめることが必要です。

平戸市でも既に猪渡谷町や田平町で小型風力発電事業が開始・計画され、大きな問題になっていきます。田平町では、住宅から30メートル、50メートルのところには建設する、という計画。低周波によ

る人への健康被害はもちろん、近くにはJ Aキャトルセンターなどがあり家畜への影響、中瀬草原の景観などにも影響します。

【山崎】田平町で住民のみなさんが、建設反対の声をあげています。市として何らかの規制を行うべきだと思いますが、いかがですか

【市長】小型風力発電の、整備に係る方向性を示したガイドラインの制定に向けて、検討を行いたい

レストハウス関連の議案を可決

多くの市民から、「レストハウスは、現在のまま使用するか、解体して駐車場にしてどうか」「多額の税金を、箱物や道路などに、どんどん使うのではなく、暮らしの応援に使ってほしい」という声が上がっています。

市は、こうした声に、耳をかたむけるために、住民説明会やアンケートなどを行うべきではないでしょうか。そして、今後のレストハウスのあり方を、慎重に検討すべきではないでしょうか。

しかし、市は、そうした取り組みを行うとはしません。3月市議会に「レストハ

日本共産党平戸市後援会が花見

4月9日、田平公園で、毎年恒例の花見を行いました。あいにくの天気で参加者は少なくなりましたが、10月市議選での、山崎市議の必勝を誓い合いました。



をひらき、「リフォーム、あるいは建て替え」という結論を、5月にも出そうとしています。そして、6月市議会に、建設予算案を提出しようとしています。

市議会と議会制民主主義をないがしろに

「検討委員会」を設置する議案は、3月市議会に提出され、可決されました。しかし、市は、3月市議会の前に、十数名の検討委員を決め、第1回の会合を開いています。市議会、議会制民主主義をないがしろにするもの、と言わなければなりません。

「検討委員会」を設置する議案に、山崎市議は反対討論を行い、反対しました。「反対」は山崎市議をふくめ2人、他の市議は「賛成」しました。

定住を促進する給付型奨学金制度

平戸市でも創設へ

ヨーロッパなどでは、学費は無料または少額です。そのうえ、給付型奨学金が充実しており、学生が学費や生活費の心配なく勉学に励むことができます。

日本の学費は世界一高いレベルです。OECD加盟の34カ国で、大学の授業料が有料で給付制奨学金がない国は日

本だけです。（日本も不十分ながら今年度から給付型奨学金制度を実施）。

本来、奨学金制度の充実は国が行わなければならないことですが、山崎市議は国を待つのではなく、市として取り組みを求め、市として取り組みを求めました。

【山崎】長崎県などには定住

促進型の奨学金制度（給付型）があります。この制度は全国にひろがり、五島市でも導入されようとしています

【教育次長】五島市では、UIターンで市内に住む若者を対象にしています

【山崎】平戸市でも導入すべきですが

【市長】今、時期は言えませんが、本当に喜ばれる制度をつくりたい



レストハウス

ウス活用検討委員会」を設置する議案が、提出され、可決されました。検討委員会は、5回の会合